

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・

地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

□2021年度通常総会開催のご報告 …… 1P	□居場所づくりセミナー …… 3P
□理事退任のご挨拶 …… 2P	□NPO法改正 …… 3P
□第1回NPOマネジメントセミナー …… 2P	□地域福祉川柳 …… 3P
□通いの場をつなぐ、オンライン講演会 …… 2P	□サポちたインフォメーション …… 4P

2021年度通常総会開催のご報告

今年度は、5月27日、知多市市民活動センターにて、通常総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を取り、参集は理事及び監事に制限し、視聴希望者にはオンラインにて、ライブ配信を行いました。また、御来賓の知多市企画部部長、細川賢弘氏より、市民活動センターを核にした協働まちづくりの成果についてお言葉を頂戴しました。



この日の出席は、2021年3月末現在の正会員数59（団体26、個人33）名、うち本人出席11名、委任状28名、計39名にご協力をいただき、すべての議案についてご承認いただきました。

また、任期満了による役員改選につきましては、理事田中嵩久氏、監事浅田文彦氏の両名が退任され、新たに岩田光寿氏が監事に就任しました。また、6月1日の理事会にて定款第14条2項に基づき、三役選任の互選を行った結果、夫々が就任を承諾しました。

代表理事 市野恵（サポートちた事務局長兼任）
副代表理事 出口晋（特非）ゆめじろう 理事長
山崎紀恵子（認特非）絆 代表理事
常務理事 今井友乃（特非）知多地域成年後見センター
理事長
渡邊千恵（特非）りんりん 理事長

総会議案の一つである事業報告より、新しい生活様式に向けた積極的な取り組みとしてのオンライン導入についてご報告します。

介護職員初任者研修新規講師養成では、会員団体より、講師要件を満たす7人を推薦していただきました。その方々が、長年同研修講師を担当する戸田愛さん（いのちのきらめき畑）より、講義の組み立て方や資料作成方法、通信課題の添削方法を学び、加えてZoom操作も習得し、講師デビューを果たされました。

知多市まちづくり人材育成実行委員企画をはじめ、市民活動センター主催事業も、オンラインによる学びと交流の機会を提供しました。また、一宮市市民活動支援センター主催「オンラインによるバーチャルバスツアー」をお迎えしました。

振り返ると、試行錯誤の一年でしたが、改めて、オフライン（対面）であれ、オンライン（非接触）であれ、私たちの活動が相手にどう映るのかをデザインし、提案しなければ伝わらないと思います。確かに、オンラインでは、コミュニケーションは取りづらいかもしれませんが、同じ土俵に立って対話する際には、非言語を言語化させ、可視化することを丁寧に進めていきたいと思っています。

現在、今年度の事業もオンライン化を進めております。中でも、今年3カ年目を迎える愛知県高齢者コミュニティ参加促進事業では、知多市内にあるサロン運営される団体の協力を得ながら、市民活動センターとサロンをオンラインでつなぐイベントを進めてまいります。先日も、講師と市民活動センター、複数のサロンをつなぎ、講演会を開催しました。地域住民は、通い慣れたサロンで、講師の話を聴講していただきました。オンラインではありますが、サロン同士で音声の確認をしながら、オンタイムを共有できる幸せを感じることができました。他方、サロンの運営側も、独自で講師依頼やイベントメニュー企画しなくとも、市全体で取り組む企画があれば、それを活用できるのも一つのメリットではないでしょうか。講演会の詳細は、中面をご参照ください。

市野 恵（代表理事・事務局長兼任）

■理事退任のご挨拶

(一社)アンビシャス・ネットワーク 田中嵩久様

短い間ではありましたが、地域福祉サポートちたの理事という大役を預らせていただき、ありがとうございます。そして、まだまだ経験も知識も浅い私に、これからの期待も含めて、想いを預けていただいたのにも関わらず、道半ばで退任という形になり、申し訳ありません。

少し私事にはなりますが、日本福祉大学の学生生活動から起業し、現在まで様々な生きづらさを抱える子どもたちと向き合って参りました。その中で、多くの子どもたちや仲間と出会い、そして、そんな仲間との支えの中で、できたことも沢山あったと自負しています。しかし、「子どもの貧困」という社会問題と向き合う以上、現場だけでは変えられない多くのものも見えてきました。社会福祉の考え方に「個と地域や社会をつなげていく」と同時に、個の課題に対して「ないものは作っていく」と大学で学び、目の前の子どもたちのためにできることを一つずつ積み上げて、現在まで活動して参りました。

「全ては目の前の一からしかはじまらない」と私は考えています。今後につきましても、地域活動から退くわけではなく、気持ちは変わらず、多くの方の気づきや学びの中で立場を変えて、一つ一つ取り組んでいこうと新たな一歩を踏み出しております。

引き続き、立場は変わりますが知多半島の草の根活動をする一人として、頑張っていきたいと思います。

■第1回NPOマネジメントセミナー 「新型コロナウイルス感染症対策」

4月28日、2021年度第1回NPOマネジメントセミナーを開催した。内容は、「新型コロナウイルス感染症対策」。地域の暮らしを支えるNPOは、

コロナ禍においても、独自の対策を取りながら、活動を継続してきた。それぞれの法人が取り組んできた対策を共有し、意見交換を行った。ポイントを紹介する。



会場とオンラインで開催

法人の関係者に、新型コロナウイルス陽性反応者が出た場合の対応で、法人として優先すべきことは、以下の3点。

- ①必要とするところへは必ず情報を開示すること。
- ②陽性者の個人が特定されないようにすること。
- ③事業を必ず継続させること。

①情報開示と、②個人情報保護について。必要最低限の関係者（全職員・全利用者ではなく、関係のある職員と関係のある利用者）へ、陽性者が特定さ

れないような形で、連絡をする。例えば、複数人で電話連絡する場合、気を付けることとしては、話す内容が同じになるように、文章を作成し、それを読む。電話の相手から「どこの部署ですか?」「誰ですか?」と聞かれても、個人を守るため、答えない。コロナ禍の早い段階に、陽性者が出たある施設では、個人が特定されるような発表をしたことで、問い合わせやバッシングの電話で、回線がパンクするほど大変だったという。陽性者の復帰後のことも踏まえて、「うちの関係者（職員or利用者）」で通す。また、ホームページ上に、関係者から陽性者が出たことや、休業期間などを掲載し、全関係者に周知できた時点で、ホームページの掲載を終了する。

③の事業継続について。事業を継続させるのに役に立つのは、BCP（事業継続計画）（※1）。法人の代表、もしくは委員会は、事業継続・再開のために、どこかで判断を下さなければならないので、事前に決めておくと、それに従って行動ができる。BCPは、あくまで机上論なので、常に見直しが必要だが、判断のベースを事前につくっておくことは有効である。しかし、新型コロナウイルスの場合を考えたときに、事業再開までの期間の基準をどこに置くのか、「付着しているウイルスがなくなる72時間」なのか、「濃厚接触後、3~4日後に発症している人が多いので5日は必要」なのか、それ以上の「1週間」なのかは、意見が分かれるところだった。

また、市町の感染者数の状況や、自分たちの法人の状況・目標・項目・内容を定めたフェーズ（段階）をつくっておくのもよい。フェーズの一覧を事務所に貼り、今はどのフェーズであるかを職員間で共有できると、職員もそれを意識した行動をすることができる。（早川）

※1 BCP（事業継続計画）とは

災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧をできるだけ速やかにするために、事前につくっておく計画のこと。

BCPの基本ガイドブックは、以下から閲覧可能。BCP作成の相談は、サポートちたでも受け付けている。

<https://sunnyday-cfsc.ssl->

olipop.jp/00_document-1/2020_BCPguidebook.pdf

■2021年度愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業 「通いの場」をつなぐ、オンライン講演会

2019年度から、愛知県より受託し、3カ年計画でスタートした「高齢者地域コミュニティ参加促進事業」。「通いの場（※2）」が抱える「男性の参加が進まない」、「利用者の固定化」などの課題解決をめざし、参加者のアンケートから事業の効果などをまとめ、県内から集まった結果を県が集約して、各市町村へ効果的な通いの場の提案をすることを目

的としている。

本事業の3カ年目である2021年度は、新たな試みとして、知多市内の「通いの場」と「通いの場」をオンライン（Zoom）でつなぐ講演会を企画。コロナ禍の対面不安の解消、さらには運転免許証返納などで、遠方の会場へ行くための移送手段がない人などにも、自宅や近所の通いの場で参加することができれば、効果的ではないかと考察し、実施した。

まず、5月28日に、通いの場管理者向け講座『サロンでZoomをつかってみよう』として、オンライン講演会に必要な操作を学ぶ勉強会を行った。さらに、実践練習を兼ねたZoom交流会を経て、6月29日に、「オンライン講演会『老いから学ぶ』」を開催。講師である大智院（知多市）の長谷川実彰住職もオンラインで登壇し、知多市社会福祉協議会を始め、生活支援体制整備事業、第2層を担う、（認N）ゆいの会、（N）あゆみ、（N）だいこんの花の声掛けにより、「つつじヶ丘3ハウス」「ゆいサロン」「らでいっしゅ」「南粕谷元気会」の4つの通いの場がサテライト会場として参加した。地域の民生院委員なども自宅からオンラインでつながり、各会場



「南粕谷元気会」の様子

とオンラインのべ約80名の参加があった。

講演会では、住職より「年を重ねたことで、できないことをマイナスにとらえず、前向きな言葉に変換することで同じものでも味方によって違ってくる」とお話いただいた。参加者からも「オンライン講演会は初めての経験だが、会場の雰囲気や和気藹々としていて楽しく過ごせた」と感想があった。

地域の通いの場によっては、Wi-Fiなどインターネット環境が整備されていないケースもあり、また各通いの場の機器類設置に当たり、パソコン操作支援として市民活動団体「まうすの会」の協力も大きかったことから、設備の拡充や技術支援など、通いの場でオンラインを使った交流を進める上での今後の課題も見えた。

通いの場の管理者からは「オンラインなら参加しない」と、普段、ICTに触れていない高齢者には、受け入れてもらえないケースもあったという。一方で、「人をつなぐ・情報を得るためにも、これから必要になると感じた。また学習の機会が欲しい」などの声もあった。（安藤）

（※2）「通いの場」とは介護予防を推進するため、様々な活動を通じて仲間と楽しんだりリフレッシュしたりと、日々の生活に活気を取り入れてもらうために地域の高齢者が集う場のこと。

■東浦町・（認N）絆共催く居場所づくりセミナー「シェアして開く、小さなまちのコミュニティ」

6月27日、居場所づくりセミナー「シェアして開く小さなまちのコミュニティ」に参加した。講師は、「かさでらのまち食堂」の運営者、宮本久美子さん。



会場は、緒川コミュニティセンター

「かさでらのまち食堂」は、空きビルを活用し、名鉄笠寺駅

前に誕生した、日替わりシェフのシェア食堂。大きなテーブルが特徴的で、家族で食卓を囲むように、地域の人が卓を囲むことをコンセプトとしている。

特に興味深かったのは、改装中のお話。改装中から、住民参加の仕掛けを、いくつも打ち出していた。まず、「ちょい見世」として、ビルの軒下でシェフの試作品や、採りたてのたけのこなどを販売、サイン（看板）デザインを住民投票し、解体ワークショップに、塗装ワークショップ、宣伝も兼ねたクラウドファンディングなど、オープン前から、住民の期待値も高かったのではないかなと思う。

食堂ができたあとも、ビル全体を改装し、民泊や寺子屋などを展開。「シェアリング」を基軸に、様々な人が交流することをめざしている。（早川）

■NPO法改正

「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律」が、6月9日に施行された。変更点は、以下の3点。

- ①設立の迅速化（縦覧期間の短縮）
- ②個人情報保護の強化（住所等の公表等の対象からの除外）
- ③事務負担の軽減（NPO法人の提出書類の削減）

詳細は、内閣府NPOホームページで閲覧可能。

<https://www.npo-homepage.go.jp/kai sei>

■地域福祉川柳

2月26日、知多半島8市町の地域福祉計画を学びあう、研修会「0歳から100歳、みんなで支えあう地域福祉計画」を開催した。その際に「地域で支えあうこと」を、広く住民に伝える表現を川柳で募集した。後日、寄せられた川柳を紹介する。

●私たち みんな幸せ 願うから 地域福祉に 夢託す

●やさしさをもち寄る思い

やさしさに甘える勇気 包むまち

●この町の すてきなところ 知りたいと

思えるような 広報を

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せください。

■「いきがい・助け合いサミットin神奈川」 「地域共生社会」に向け 最前線の課題と対応策を共に考えるチャンス

「いきがい・助け合いサミットin神奈川」(全国研修会)が、開催される。テーマは、「共生社会をつくる地域包括ケア～生活を支え合う仕組みと実践～」。

〈日時〉9月1日(水)～2日(木)

〈場所〉パシフィコ横浜

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

〈定員〉会場参加1,500名、オンライン視聴3,500名

〈参加費〉2,000円(資料代、会場参加・オンライン視聴共通)

〈申込締切〉7月31日(土)※ただし定員になり次第締切

〈申込方法〉WEB <https://amarys-jtb.jp/summit2021/>
FAX045-316-5701(JTB横浜支店)

〈問合せ・申込〉(公財)さわやか福祉財団

☎03-5470-7751 FAX03-5470-7755

メール summit@sawayakazaidan.or.jp

■2021年度愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業 夏休み「喜楽de書」体験講座 「暑中見舞いはがきを描いてみよう！」

筆を使って、楽しい文字をはがきに描く、「喜楽de書」体験講座を開催する。関心のある方なら、どなたでも参加可能。遠く離れた家族や友人に出すもよし、お子さんの夏休みの自由課題にするもよし、暑中見舞いはがきを描いてみませんか？

〈日時〉7月29日(木) 10:00～11:30

〈場所〉知多市市民活動センター 会議室

〈講師〉百武幸一氏

〈対象〉関心のある方ならどなたでも

〈定員〉20名(無料・要予約)

〈持ち物〉ポケットティッシュ、新聞紙

〈問合せ・申込〉(N)地域福祉サポートちた(担当:安藤)

☎0562-33-1631 FAX0562-33-1743

メール spchita@ams.odn.ne.jp



■知多市市民活動センター主催 waiwai交流会 「市民活動センターを利用しているときに 地震が起こったら、あなたは？」

市民活動センターにいるときに、被災するかもしれない。センターに備蓄しているもので、何ができるの？備蓄品以外で使えるものは？その場にいる人で協力し合わなければならないことは？などを一緒に考える。

〈日時〉8月24日(木) 14:00～16:00

〈場所〉知多市市民活動センター

〈講師〉椿 佳代氏(防災士)

〈対象〉市民活動センターの入居・登録団体
テーマに関心のある市民

〈定員〉30名(無料・要予約)

〈問合せ・申込〉知多市市民活動センター(担当:市野)

☎0562-31-0381 FAX0562-32-3160

メール chitanpo@ma.medias.ne.jp

■(N)すけっとファミリー「野菜マルシェ」

(N)すけっとファミリーが、事務所前の駐車場にて、4月から、「野菜マルシェ」を始めた。出店者は、(一社)C&C「なんかれ商店」(就業支援A型事務所)。無農薬・低農薬で栽培された、新鮮な野菜を、お値打ち価格で販売している。

〈日時〉毎週水曜日(祝日は休み) 11:00～12:00

〈場所〉(N)すけっとファミリー 駐車場

名古屋市瑞穂区弥富通3-45

〈その他〉雨天決行

〈問合せ〉(N)すけっとファミリー ☎052-861-3980

■手づくりカフェ Ada-coda からのお知らせ

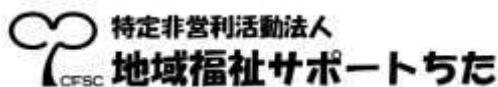
7月21日(水)から、8月31日(火)まで、夏季休業。日替わりシェフは、随時募集している。(担当:安藤、幸前)

新会員紹介 ☆・*:.*.☆..*°.☆:* .*:°. .☆..*°

ご入会ありがとうございます。(2021/6/30現在)

【準/個人】山森 英津子 様

:*° ☆*:.*.☆..*°.☆:*:.*.☆..*°.☆..*°



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階
TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp



◆地域福祉サポートちた
HP:cfsc.sunnyday.jp/
FB:facebook.com/sapochita/

◆手づくりカフェAda-coda
HP:cfsc.sunnyday.jp/01-adacoda/
FB:facebook.com/Adacoda.cafe/